

区立小中学校でのスクールドッグの試行導入

事業名	創意ある教育活動研究指導		
ここがポイント	令和7年度に学びの多様化学校「Minato School」で試行導入したスクールドッグを、新たに区立小中学校1校ずつで試行導入します。	区 分	<input type="checkbox"/> 新規を <input type="checkbox"/> 臨時（ <input type="checkbox"/> 新規・ <input type="checkbox"/> 継続） <input type="checkbox"/> レベルアップ <input checked="" type="checkbox"/> 継続

スクールドッグは、「動物介在教育」の一環として教育現場に導入される犬で、子どもたちの情緒の安定や責任感の育成などへの効果が期待されています。

港区では令和7年10月から、発達障害や情緒面で支援が必要な子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学びの多様化学校「Minato School」で試行的にスクールドッグを導入しました。

令和8年度からは、「Minato School」に加えて新たに区立小中学校1校ずつで試行的に導入します。

区立小中学校でのスクールドッグの試行導入 概要

- 日本補助犬協会に協力を依頼し、補助犬として活躍する犬が子どもたちと触れ合います。
- 事前に子どもたちの動物アレルギーの有無を確認するなど、個々の状況に配慮しながら進めます。

令和8年度導入校 学びの多様化学校 Minato School
 白金の丘学園白金の丘小学校
 青山中学校

実施頻度（予定） 各学校 月1回、年10回



令和8年度の実践を踏まえ、
令和9年度以降の本格導入を
検討していきます。



問合せ

教育指導担当 （指導主事）

課 長： 清 水（しみず） 03-5422-1540
 指導主事： 神 村（かみむら） 03-5422-1541